

平成28年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年1月12日

上場会社名 株式会社レイ 上場取引所 東
 コード番号 4317 URL http://www.ray.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 分部 至郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名) 牧田 渉 (TEL) 03(5410)3861
 四半期報告書提出予定日 平成28年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

1. 平成28年2月期第3四半期の連結業績(平成27年3月1日～平成27年11月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第3四半期	8,847	6.5	609	54.5	584	58.1	424	152.0
27年2月期第3四半期	8,311	6.9	394	△18.2	369	△19.3	168	△32.2

(注) 包括利益 28年2月期第3四半期 291百万円(64.8%) 27年2月期第3四半期 176百万円(△29.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年2月期第3四半期	32.97	32.90
27年2月期第3四半期	13.20	13.12

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第3四半期	9,050	3,659	40.4
27年2月期	8,789	3,426	38.7

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 3,658百万円 27年2月期 3,405百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0 00	—	5 00	5 00
28年2月期	—	0 00	—		
28年2月期(予想)				6 00	6 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の連結業績予想(平成27年3月1日～平成28年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,000	4.6	600	19.5	550	22.5	430	41.3	33.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

除外2社(社名) 株式会社ティーシー・マックス、株式会社ニッポンムービー大阪

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年2月期3Q	14,328,976株	27年2月期	14,328,976株
② 期末自己株式数	28年2月期3Q	1,434,962株	27年2月期	1,544,962株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年2月期3Q	12,870,276株	27年2月期3Q	12,758,355株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業実績に支えられて景気は緩やかな回復基調であるものの、海外景気の減速を受けた設備投資の慎重な姿勢や、物価上昇による勢いを欠く個人消費状況等が続いており、一部で弱含みが見られております。

当社グループの主要な市場である広告業界につきましては、経済産業省の特定サービス産業動態統計調査によりますと、広告業界全体の売上高は前年同期と比較して上回っており、概ね堅調に推移しております。

このような経済、市場環境のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、秋はイベントや展示会が多く開催される期間であったことや積極的な設備投資の結果、受注が堅調に推移したこと等により、売上高は8,847百万円（前年同期比6.5%増）に、営業利益は609百万円（同54.5%増）、経常利益は584百万円（同58.1%増）、期初の連結子会社の再編に伴い繰延税金資産の回収可能性について検討した結果、連結子会社において繰延税金資産を計上したこと等により四半期純利益は424百万円（同152.0%増）となりました。

当社グループのセグメントの業績は次のとおりであります。

（広告ソリューション事業）

S P（セールスプロモーション）・イベント部門につきましては、秋はイベントや展示会が多く開催されている期間であったこともあり、業績は堅調に推移いたしました。TVCM（テレビコマーシャル）部門につきましては、第3四半期連結会計期間に売上を見込んでいた案件の計上が第4四半期以降にずれこんだことや、価格競争の影響を引き続き受けているものの、経費コントロール徹底の効果等から業績は前年並みに推移いたしました。

この結果、広告ソリューション事業の売上高は4,486百万円（同11.7%増）、営業利益は283百万円（同31.5%増）となりました。

（テクニカルソリューション事業）

映像機器レンタル部門は、積極的に進めていた設備投資の効果等もあり、秋の展示会シーズンにおいても受注が堅調に推移し、業績は回復基調で推移いたしました。ポストプロダクション部門におきましては、編集スタジオは引き続き堅調に稼働しているものの、受注・価格競争激化の影響を受け、業績は低調に推移いたしました。

この結果、テクニカルソリューション事業の売上高は4,361百万円（同1.5%増）、営業利益は783百万円（同26.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

流動資産は前連結会計年度末に比べて320百万円増加し5,413百万円となりました。主な要因は、受取手形の増加231百万円、売掛金の減少400百万円、たな卸資産の増加433百万円によるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて59百万円減少し3,636百万円となりました。主な要因は、有形固定資産の増加156百万円、投資有価証券の減少215百万円によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて260百万円増加し9,050百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べて90百万円増加し4,151百万円となりました。主な要因は、買掛金の増加193百万円、リース債務の増加63百万円、賞与引当金の減少79百万円、未払消費税等の減少85百万円、預り金の増加53百万円によるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて62百万円減少し1,239百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少107百万円、リース債務の増加114百万円、繰延税金負債の減少72百万円によるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて28百万円増加し5,390百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べて232百万円増加し3,659百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加360百万円、その他有価証券評価差額金の減少130百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の連結業績予想につきましては、平成27年10月6日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、平成27年3月1日をもって当社の連結子会社でありました株式会社ティーン・マックス、株式会社ニッポンムービー大阪他2社は、株式会社ニッポンムービー(現 株式会社クレイ)を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	988,196	1,022,952
受取手形	223,115	454,526
売掛金	3,226,849	2,826,666
たな卸資産	417,075	850,479
繰延税金資産	126,327	146,828
前払費用	89,754	86,806
その他	37,604	35,954
貸倒引当金	△15,569	△10,330
流動資産合計	5,093,354	5,413,883
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	775,777	795,222
減価償却累計額	△170,149	△194,147
建物及び構築物(純額)	605,627	601,074
機械装置及び運搬具	984,782	1,030,336
減価償却累計額	△770,661	△807,677
機械装置及び運搬具(純額)	214,120	222,658
工具、器具及び備品	278,867	285,922
減価償却累計額	△231,828	△245,777
工具、器具及び備品(純額)	47,038	40,144
土地	1,109,883	1,109,883
リース資産	1,682,823	2,055,022
減価償却累計額	△803,180	△1,015,844
リース資産(純額)	879,643	1,039,178
有形固定資産合計	2,856,314	3,012,940
無形固定資産		
ソフトウェア	65,609	50,458
のれん	21,971	17,851
その他	7,599	18,372
無形固定資産合計	95,180	86,682
投資その他の資産		
投資有価証券	479,327	264,004
出資金	369	10,236
長期貸付金	8,168	5,648
破産更生債権等	29,425	29,351
長期前払費用	10,006	12,567
敷金及び保証金	201,707	198,468
保険積立金	49,473	49,473
繰延税金資産	101	-
その他	150	1,120
貸倒引当金	△34,444	△34,369
投資その他の資産合計	744,284	536,500
固定資産合計	3,695,779	3,636,122
資産合計	8,789,134	9,050,006

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,117,083	1,310,227
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	160,800	160,800
リース債務	426,496	490,047
未払法人税等	149,024	130,751
賞与引当金	188,033	108,722
未払金	218,635	173,445
未払消費税等	129,838	44,524
未払費用	58,182	75,985
預り金	15,535	69,391
その他	96,970	87,169
流動負債合計	4,060,600	4,151,065
固定負債		
長期借入金	657,900	550,000
リース債務	510,520	625,012
繰延税金負債	91,443	18,685
その他	41,972	45,887
固定負債合計	1,301,837	1,239,585
負債合計	5,362,437	5,390,650
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,143	471,143
資本剰余金	475,487	481,764
利益剰余金	2,509,653	2,870,080
自己株式	△265,641	△246,728
株主資本合計	3,190,643	3,576,260
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	190,646	59,874
為替換算調整勘定	24,205	21,921
その他の包括利益累計額合計	214,852	81,796
新株予約権	20,513	-
少数株主持分	687	1,299
純資産合計	3,426,696	3,659,355
負債純資産合計	8,789,134	9,050,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
売上高	8,311,646	8,847,958
売上原価	5,770,461	6,185,338
売上総利益	2,541,184	2,662,619
販売費及び一般管理費	2,146,551	2,052,739
営業利益	394,632	609,880
営業外収益		
受取利息	18	14
受取配当金	4,305	3,582
貸倒引当金戻入額	452	5,312
その他	11,598	8,527
営業外収益合計	16,375	17,436
営業外費用		
支払利息	19,825	17,750
持分法による投資損失	2,760	9,599
出資金運用損	15,126	14,511
その他	3,938	1,454
営業外費用合計	41,650	43,315
経常利益	369,357	584,001
特別利益		
固定資産売却益	305	21
新株予約権戻入益	511	12,483
特別利益合計	816	12,504
特別損失		
持分変動損失	-	497
固定資産売却損	-	3,052
固定資産除却損	1,984	43
減損損失	1,675	-
特別損失合計	3,660	3,592
税金等調整前四半期純利益	366,512	592,913
法人税、住民税及び事業税	89,436	186,975
法人税等調整額	108,707	△18,491
法人税等合計	198,144	168,483
少数株主損益調整前四半期純利益	168,368	424,430
少数株主利益	-	113
四半期純利益	168,368	424,316

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	168,368	424,430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,829	△130,770
持分法適用会社に対する持分相当額	2,600	△2,284
その他の包括利益合計	8,430	△133,055
四半期包括利益	176,798	291,375
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	176,798	291,265
少数株主に係る四半期包括利益	-	109

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,015,222	4,296,423	8,311,646	—	8,311,646
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,530	225,359	226,889	△226,889	—
計	4,016,752	4,521,782	8,538,535	△226,889	8,311,646
セグメント利益	215,331	617,175	832,507	△437,874	394,632

(注) 1 セグメント利益の調整額△437,874千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年3月1日至平成27年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,486,669	4,361,288	8,847,958	—	8,847,958
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,650	375,194	376,844	△376,844	—
計	4,488,319	4,736,483	9,224,802	△376,844	8,847,958
セグメント利益	283,140	783,448	1,066,588	△456,708	609,880

(注) 1 セグメント利益の調整額△456,708千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。